

第 104 回実践勉強会 実施レポート

平成 31 年 2 月 13 日 大田文化の森 多目的室
共催 E A ファーマ・持田製薬

参加者 76 名
特別講演

「選択肢が広がった便秘治療」

演者：東邦大学総合診療・救急医学講座

教授 瓜田 純久 先生

【質問①】

MVC は小児科で期待されているいるがまだまだカマ処方が多い。これは長期処方できないことや薬価が高いことが原因か？

【回答①】

同様の成分が大腸内視鏡前処置薬として使用されており、すっきりした感触が得られることをお話すれば処方は多くなるのではないかと考えている。
また小児の便秘は器質的疾患が少なく、腸管が短いため良好な効果が得られると考えられる。

【質問②】

MVC を服した場合、排便時間がいつ頃になるか知りたい(通勤・通学への影響を知りたい)。

【回答②】

服用してすぐに排便するのではなく比較的穏やかに効果が発現する薬剤である。従って生活に対する影響は少ないと考えている。
実際に処方する時は効果に個人差があるため、初回投与は日曜日に服用して排便時間を確認するように指導している。